

三重教務所通信

2022



1月号



発行人:三重教務所長 安田 雅
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp

桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



年頭にあたって

三重教務所長 安田 雅

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より、三重教区における事業の推進と円滑なる運営のためご理解とご尽力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、一昨年と二年に亘って新型コロナウイルス感染症の対応に終始してまいりました。現在は、新規の感染者の数は減ってきましたが、オミクロン株なる新種株による蔓延の脅威から未だ予断を許さない厳しい状況が続いております。

各ご寺院では、当初は未知の感染症ということで、法要や行事を中止や延期されるとともに「内勤め」としてご門徒の参詣をご遠慮いただいて勤めるなどの苦渋の措置が講じられました。しかし、感染症の対策方途が徐々に明らかになっていく中で、「例年通り」とは行かないまでも、十分に対策をとりながら、それぞれのご寺院独自のかたちとして勤められるようになってきたことであります。

ある寺院の役員会において、現状における報恩講の勤め方について協議したところ、ご門徒から「蓮如さんも御文さんに報恩講は〔毎年不闕（ふけつ）〕や〔例年の旧義として〕とおっしゃってる。毎年きちんとやらなあかんやろ」と思いもよらぬお聖教の言葉が語られ、「ごえんさんは、いつも報恩講は真宗門徒にとって最も重要な御仏事と言ってるやないか」といった意見が出されました。毎年、当たり前のように日程と役割分担等の確認に終始してしまう役員会が、今年は「報恩講とは何か」「なぜ勤めるのか」「どのように勤めるか」ということをともに考え語り合う場となったといえます。

「コロナ禍」と言われますが、コロナによって「当たり前」が問い直され、「なぜ」「自分にとって」という問いが生まれてきたことは、コロナのお陰さまということではないでしょうか。

親鸞聖人によって「浄土真宗」が開かれ、間もなく800年を迎えます。聖人や蓮如上人のご在世時はもちろんのこと800年の間には飢饉、疫病に幾度となく見舞われ、その都度、信心の中身が問われ、真宗寺院の存在意義が問われる歴史の繰り返しでありました。

「寺離れ」が急激に進む社会において、コロナによって今まで見えなかったことに気づかされ、新たな教化伝道の取り組みが生まれ、次なる900年、1000年と伝統されていくための大切な一年となりますよう三重教区の総合力をもって取り組んでまいりたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

○宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要団体参拝各組団体参拝日決定

去る11月30日に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要団体参拝期日調整会が開催され、次のとおり各組の団体参拝日が決定しましたので、取り急ぎお知らせするとともに、教区内の皆さまにはご予約くださいますようお願いいたします。

なお、詳細については、後日お知らせいたします。

第1期法要					
期日	曜	組	人数		
2023年3月27日	月	中勢1組	80		
3月29日	水	桑名組1部	80		
3月31日	金	員弁組	80		
4月2日	日	員弁組	80		
4月3日	月	南勢1組	80		
4月4日	火	南勢2組	80		
4月6日	木	南勢1組	80		
4月8日	土	伊賀組	40		
第2期法要					
期日	曜	組	人数	組	人数
2023年4月16日	日	桑名組2部	80	三重組1部	40
4月17日	月	三講組	120		
4月18日	火	中勢2組	40	四日市組	80
4月20日	木	三重組2部	40	三重組3部	40
4月21日	金	長島組	80		

○経常費年末完納のお扱いについて

本年度宗派経常費の年末完納のお扱いを2022年1月20日（木）締切とさせていただきます。何卒ご完納に向けて更なる勧募奨励方よろしくお願い申し上げます。

また、法要座次・衣体、教師資格のご確認・ご申請等は、教務所までお問い合わせください。

○「花まつり子ども大会」について

このたび、「花まつり子ども大会」の期日が決定しましたのでお知らせします。

なお、開催形態等の詳細については後日改めてお知らせします。



期日：4月4日（月）

会場：桑名別院

○第4回門徒戸数調査について

来る2月1日に門徒戸数調査が全国一斉に実施されます。

第4回を迎える「門徒戸数調査」は、宗門の護持・運営・教化に資する行財政基盤の確立に向けて、宗門人一人ひとりの責務として、公正かつ公平な取り組みを具現化させる宗務改革として実施されるものです。集計された調査結果は、25教区に対する宗派経常費等の割当基準算出の重要要素として使用されます。

つきましては、下記のとおり1月18日に調査票が発送されますので、事前に届いています実施要項（2021年9月頃に全寺院へ到着済）をご熟読のうえ、間違いの無いようご記入ください。

なお、調査についての日程は下記のとおりとなります。

11月30日	教区門徒戸数調査委員会（調査説明会・組長、組門徒会長対象）
2022年1月18日	別院及び普通寺院・教会に調査票発送
2月1日	調査期日
2月15日まで	各寺院より、組門徒戸数調査委員会（組長）へ調査票を提出
2月末日まで	組門徒戸数調査委員会（組長）より教区門徒戸数調査委員会（教務所）に調査票を提出
3月3日	14時～ 教区門徒戸数調査委員会開催

○内局巡回の開催について

既報のとおり「宗務改革（行財政改革）」の意見聴取を目的とした内局巡回が下記のとおり開催されます。

三重教区においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3会場をオンラインで結び、同時に進行いたします。

つきましては、対象者の皆さまは、事前に送付してあります資料『「宗務改革（行財政改革）」の推進に向けて【内局案】』を持参のうえ、ご出席ください。

また、本山からの出向者が決まりましたので、併せてお知らせします。

日 時：2022年1月31日（月）午後2時～午後4時30分

会場及び対象：（1）北勢会場 桑名別院本堂 桑名・長島・員弁・三講・三重・四日市組
（2）中勢会場 託縁寺本堂 中勢1・中勢2・伊賀組
（3）南勢会場 立雲寺本堂 南勢1・南勢2組

内 容：宗務改革（行財政改革）の推進に向けて

出向者：酒井 良（参務・財務長）、梯 宗（宗務改革推進本部事務部長）、
荒川清和（宗務改革推進本部次長）

対象者：宗議会議員及び参議会議員、教区会議員、正副組長、教区門徒会員、教区教化委員会委員、教区坊守会委員、その他組長が必要と認められた者

○研修会(公開)のお知らせ

児童教化連盟研修会

- ◎日 時 2月17日(木) 15時30分～17時
- ◎会 場 桑名別院 三重同朋会館3階講堂
- ◎内 容 ハンセン病問題学習(映画鑑賞、座談会等)
- ◎参加費 無料
- ※ チラシを同封しています。

東海連区教誨師会研修会

- ◎日 時 3月14日(月) 15時～17時
- ◎会 場 大垣教務所 講堂
- ◎講 師 中島 岳志 氏(東京工業大学教授、大谷派教学会議教学員)
- ◎内 容 真宗と教誨について
- ◎その他 ①会員(教誨師・篤志面接委員)の研修会ですが、当会の活動への理解を広めるため、申込不要、参加費無料の公開講座形式とします。
②講義は、リモート形式(先生は東京からWEB接続にて講義・質疑応答、会場の大型スクリーン投影)となります。
③新型コロナウイルス感染症の流行次第では、今後、研修会等の縮小や中止の可能性があるので、その旨ご了解ください。

○「宗祖親鸞聖人御旧跡参拝奉仕団」の開催について

このたび、2023年に厳修いたします「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」のお待ち受け事業として、「宗祖親鸞聖人御旧跡参拝奉仕団」が開催されます。

つきましては、案内チラシを同封しますので、是非ご参加ください。

テレホン法話のご案内

- 1月 1日～15日 …安田 雅 (三重教務所長 兼 桑名別院輪番)
- 1月16日～31日 …丹羽 昌夫 氏 (桑名組 慈航寺門徒)

心をひらく 24時間 いつでも どこでも テレホン法話 ☎ (0594) 23-6191

【敬 弔】生前のご功労を深謝し謹んでお悔やみ申しあげます

南勢2組 善龍寺(粥見) 住 職 藤井 親(2021年12月14日寂)

中勢2組 円成寺 前坊守 藤本 淑子(2021年12月18日寂)

(敬称略)

【 教務所の事務休暇(休止)についてのお知らせ 】

下記期間を年末年始の事務休暇とさせていただきます。1月7日(金)より通常業務を行います。

年末年始休暇・・・2021年12月29日(水)～2022年1月6日(木)

緊急連絡先 桑名別院 TEL 0594-22-0652

Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

○ 教化推進総務会

- ・12月10日に会議を開催した。協議内容は、①教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け大会について、②教区合同協議会の持ち方について。お待ち受け大会については、内容・講師等について協議され、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」に基づき、慶讃法要を迎える意義についてお話しいただくことを確認した。その内容を基に、各部門から推薦のあった講師候補を5名程に絞った。そこで12月14日開催の慶讃法要に係る企画要員会議(作業部会)において講師を決定する。また、教区合同協議会の持ち方については、4月中下旬頃の開催とすることを確認した。内容は、各小委員会の次年度事業計画を協議する中で、教区教化事業について考える。次回は、1月25日(火)午後1時30分から開催する。

○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議

- ・12月14日に第5回目の作業部会を開催した。協議内容は教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け大会について。上述の総務会で選出した講師候補者について検討した結果、今年度の「聖典基礎講座」の講師でもある高柳正裕氏(真宗大谷派教学研究所 元所員)にご承諾いただいた。今後、詳細な日程や当日の業務内容、チラシ・ポスターなどの広報などについて協議を行う予定。
次回は1月24日(月)午後1時30分から開催する。

○ 特伝推進本部

- ・12月6日、三重組一部との「第11次特伝懇談会」を開催(於:西信寺)。一部から僧侶9名、本部より3名が出席した。本廟研修までの4回の本講座は3人の部内講師が担当するリレー講義としたが、テキストの内容を分割して担当するのではなく、それぞれの講師に「私の出会った『現代の聖典』」として講義をいただいた。受講者と共に他の講師のお話しを興味深く聴講することができ「共学(門徒、僧侶が共に学ぶ)」の「場」が実現できた。他の意見が出された。
- ・12月16日にオンラインによる月例会議を開催。(i)総務会報告。(ii)「特伝合同協議会」の開催期日、方法を以下に確定。①2月9日(水)中勢ブロック(対面形式。於:松林寺)②2月25日(金)北勢ブロック(対面・オンライン併用。於:別院本堂)③4月6日(水)南勢ブロック(対面形式。於:無碍光寺)詳細については確定次第通知する

予定。(iii)12月27日開催「本部員学習会」について。(iv)宗務改革内局案について。本部内での課題共有のため、資料の整理・学習を行うことを確認。(v)「教区お待ち受け大会」について。教区の継続した「慶讃テーマ学習記録集」の作製を「大会企画要員会議」に提案することを確認。(vi)各組進捗報告。

○ 社会教化小委員会

・12月17日に会議を開催した。まず、テレホン法話については、今年度1カ月あたりの聴取数が平均230回ほどあり、昨年度より大幅に増えている。先般、周知・奨励用のポスターを作成し、教区内全寺院に送付（2021年度9月号に同封）した効果や、法話担当者の積極的な奨励があると思うが、来年度に向けても継続事業として行うことを確認した。次に、来る4月15日開催予定の「公開講座（講師：佐野明弘氏）」、5月10日開催予定の「ジェンダー問題に関する学習会（講師：岡久美子氏）」について、日程や当日の役割などを確認した。また、教誨師について、来る3月2日に仏教青年会と合同で学習会を行う。その他、東海連区教誨師会研修会、本山の「女性会議」、部落解放研究第27回三重県集会などの研修会について、当小委員会委員が積極的に参加していくことを確認した。次回は2月1日（火）午後1時30分から開催する。

○ 教区「差別と人間を考える」協議会常任委員会

・12月1日に会議を開催した。まず、去る10月21日に本山において開催された「部落差別問題等に関する協議会」の報告を鈴木会長から行った。協議内容は、今年度の総会及び学習会について。当事業は、昨年度はコロナ下の為中止としたが、同内容（講師：片山 寛隆 氏、内容：「是旃陀羅」問題学習会）にて、来る5月9日（月）に公開講座として開催する。（案内チラシを後日作成）次に、本年4月より大谷派三重教区が三重同宗連（同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議）の議長教団となる為、その事業について確認した。また、三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け大会の講師案について協議した。

○ 書籍のご案内

〔慶讃事業〕紙芝居『ふたりのパンタカ』

渡邊 愛子 文 楠 章子 監修 畠中 光享 絵

定価：1,760円（税込）

遠い昔のインドで、お釈迦様のお弟子となった二人の兄弟のお話です。賢い兄は熱心に努力したのですぐに立派なお弟子になりましたが、物覚えが悪く修行についていけない弟の愚かさにあきれて、弟をひそかに家へ帰そうとします。するとお釈迦様は・・・。

お寺の子ども会をはじめとする仏事の中で、青少幼年とともに教えに親しむことのできる教化教材としての紙芝居です。



今月の法語

悲しむ自分を、苦しむ自分を、
そっくりそのまま支えてくださる大地がある

平野 恵子

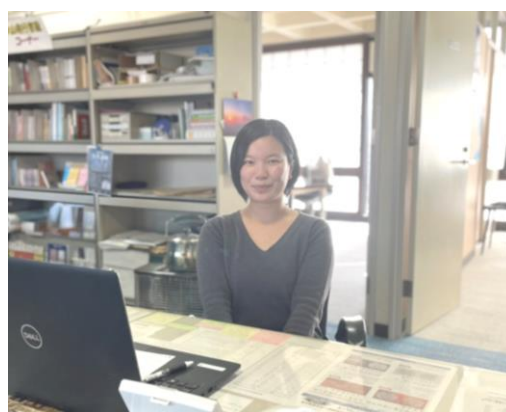
晴耕雨読（教務所員から）

書記：曲 千那都

あけましておめでとうございます。皆さん年末年始はいかがお過ごしでしょうか？私は毎年福岡の自坊で行われる餅つきを楽しみにしています。朝早くから親戚や門徒さん方が集まりその年最後の賑やかな行事です。まずは釜戸でもち米を蒸すところから始まります。釜にたっぷりのお湯を沸かして、その蒸気でせいろを蒸していくのですが、いつからか一番初めに蒸しあがったもち米は、醤油とちりめんじゃこを混ぜ込んでおにぎりにしていただくようになりました。この蒸したてのもち米が格別で、よく「ほっぺたが落ちそう」とは言いますが、まさにこのことを言うのだと思います。

それからお餅をつく用に蒸していくのですが、お餅つきといえば杵と臼でつくのが一般的だと思います。しかし、うちでは「だいから（大唐）」という餅つき機でお餅をつきます。2メートルほどの四角く長い棒の先端に杵がついていて、シーソーのように反対側を足で踏むと杵が持ち上がり、上下しながら餅をつく仕組みです。長年餅の返し手を勤めるのが90歳の門徒のおばあちゃん、決まって「わたしの手やったらいくらでもつぶしていいけね！」と返し手の役割を譲らない姿を見ると、今年も元気だなと安心します。「歳の数お餅を食べなさい」と言われるので年々苦しくなってきます。しかし、やっぱり市販の真空パック餅よりも、つきたてがおいしいですね。

年々年末にお餅をつくお家を見かけなくなったように思います。久しぶりに会う方たちと集まってお餅をつき、正月をむかえるという習慣は、いつまでも続いてほしいものです。





日	曜	行事内容
1	土	
2	日	
3	月	教務所年末・年始事務休暇(～1/6 まで)
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	特伝本部会議 13:30-
13	木	慶讃法要団体参拝席抽選会 9:00-(WEB) / 仏青学習会 15:00-
14	金	合唱団「ひかり」練習 13:00- / 教研月例会 13:30-
15	土	部落解放研究第 27 回三重県集会(於:三重県総合文化センター)
16	日	
17	月	子ども会開設サポート企画要員会議 13:30- / 坊守会役員会 13:30-
18	火	
19	水	
20	木	青少幼年教化小委員会 13:30-
21	金	① 特伝講師・補導研修会 13:30-
22	土	
23	日	
24	月	慶讃法要に係る企画要員会議(第 6 回作業部会)13:30-
25	火	教化推進総務会 13:30-
26	水	児連月例会 13:30-
27	木	花まつり実行委員会 13:30-
28	金	
29	土	得度受式希望者声明作法学習会
30	日	
31	月	内局巡回 14:00-(於:桑名別院、中勢一組託縁寺、南勢二組立雲寺)

① ご坊さんだより ②得度義務研修会の開催及び得度考査について ③坊守会現地研修会チラシ ④児童教化連盟学習会チラシ ⑤声明講習会(准堂会)チラシ ⑥「宗祖親鸞聖人御旧跡参拝奉仕団」案内チラシ